

年頭所感

—平成二十四年新春—掲載順不同

警察厅生活安全局保安課

課長 加藤 達也

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、ぱちんこは、我が国の代表的な娯楽として親しまれていますが、その一方で、依然として、のめり込みに起因すると思われる各種問題や、遊技機の不正改造事犯、不適切な広告宣伝・賞品提供

供等が後を絶たないなど、健全化を阻害する要因が残されていることも事実であります。

このような状況の中、御承知のとおり当庁では、これまで、法令の施行を通じて、著しく射幸性の高い遊技機を規制するとともに、不正改造事犯等に対する取締りを推進してきたところです。一方、業界では、より射幸性の低い遊技機の開発や、1円ぱちんこに代表される遊技料金の低価格化等を進められているところ

です。
さらに、更なる健全化のため、一般社団法人遊技産業健全化推進機構への支援を始めとした不正防止対策、ぱちんこ依存問題相談機関「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」への

支援等のめり込み問題対策、児童車内放置事案の防止対策等についても、積極的に進められているところであり、私どもとしても大変心強く感じております。

また、昨年の東日本大震災に際し、被災地支援策として、業界を挙げて義援金の拠出等に御尽力されるなど、ぱちんこ営業に対する社会的評価の向上に努められました。

ぱちんこ営業に携わる皆様におかれましては、風営法の趣旨に思いを致し、手

怪に安く安心して遊技を楽しむことができる環境の整備を始めとする、ぱちんこが健全な大衆娯楽になるための取組を、より一層進められることを期待しております。

私どもといったとしても、違法行為者に対する取締りを始めとする各種取組を推進するなど、ぱちんこが健全な娯楽となるための施策をより一層推進していくべきと考えております。

最後になりましたが、ぱちんこ業界が、広く国民に評価される業態を確立されること、また、皆様方の益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

全日本遊技事業協同組合連合

理事長 原田 實

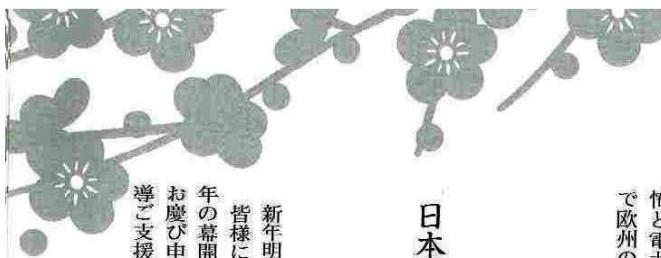
新年あけましておめでとうございます。皆様方には益々ご健勝で輝かしい平成24年の新春を迎えられましたことを心よ

りお慶び申し上げますとともに、平素からのご指導、ご支援に対しまして、謹んで厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、東日本大震災により、東北地方を中心に多くの方が犠牲になられました。被災された方々は、長年住み慣れた家を失い、職を失い、また家族を失った方も多く、それまでの生活とは、変されています。また、関東地方でも交通機関の麻痺、電力不足に伴う計画停電の実施等、今まで体験したことのない事態に遭遇しました。

ホール業界としても、震災後の電力不足を受け、東北・東京両電力管内では、初めての輪番休業、また、環境への配慮という観点以外からの節電、ネオンを消した今までの営業等、未だかつてない取組を経験いたしました。

当たり前であったものが、当たり前でなくなることの恐ろしさ、またありがたさを再認識された方も多いと思います。



生活であり、仕事であり、環境であり、
私たちには、社会により守られながら生き
ておりますが、平穏な生活中でそのこ
とを実感する機会はなかなかありません。
私たちの業界にも、様々な変化が訪れ
ており、今まで当たり前であったこと、
慣行化していたことをもう一度見直すべ
くしておきたいと思います。

ここ数年微増傾向にあった遊技人口も、
昨年に入り多少ですが減少いたしました。
私たちが求められているのは、気軽に、
楽しく、安心して遊べる環境をファンの
方々に提供することです。もう一
度、お客様の笑顔に接することができる

社団法人 日本遊技関連事業協会

会長 深谷 友尋

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
年が明けても「おめでとう」の言葉を

ためらうくらい、昨年以降の日本は非常
に厳しい状況でありました。東日本大震
災は地震と津波だけでも被害が空前なの
に、原発事故を誘発し、放射能拡散の恐
怖と電力危機は解消していません。一方
で欧州の財政危機が不気味にうねり続け、

日本もいつ大波をかぶるか予断を許しま
せん。

閉塞状況の中、娯楽産業には感動や笑
いで人々に活力を与える大切な役割があ
ります。パチンコ・パチスロも、まさに
「楽しさ」「わくわく感」でお客様に元氣
になつてもらう素晴らしい機能を持つて
います。被災して休業したホールが、フ

アンから「早く再開してくれ」と催促さ
れた話をよく聞きました。ロンドン五輪
開催の今年、スポーツや娯楽の重要さが
例年以上に認識されるかも知れません。
私たちもその期待に心して応えていきた
いと考えます。

大震災直後、ホールは誤解もあってバ
ッシングを受けました。パチンコ・パチ
スロ産業21世紀会は、業界全体として各
種の自肅・自制を決めるとともに義援金
を募り、ホール5団体は7~9月に輪番
休業を含む節電対策を整然と実行し、目
標を上回る成果を上げました。日遊協も
4~11月、被災地にボランティア隊を18

このありがたさを再認識し、業界を営ん
だいかなければなりません。

今を転換期とらえるなら、来たるべき
業界新時代に向か、業界全体で力を合
わせ、今まで手つかずになっていた問題
を再度見直し、一つ一つ着実に取り組ん
でいえば、未来は必ずや明るいものとな

ることの確信いたします。

本年が業界にとってよき年になるよう、
ご協力、ご支援方を重ねてお願い申し上
げますとともに、皆様のご健勝とご多幸
を祈念し、私からの年頭の挨拶とさせて
いただきます。

回、約190人を派遣しました。いわれ
なき非難中傷は今のところ封殺できてい
ると思っています。

今夏も全国的に厳しい電力不足が予想
され、節電は避けられません。改めてホ
ール経営の在り方が問われそうです。し
かし決して萎縮はせず、社会の信頼に応
え、業界のイメージを変えるため、経営
改革をするチャンスが来たらと前向きに捉
えていくべきでしょう。

そして、パチンコ・パチスロが「身近
で手軽な大衆娯楽」であり続けるよう、
日遊協は今年も業界団体と力を合わせ、
たゆましく活動してまいります。

日本遊技機工業組合

理事長 市原 高明

新年明けましておめでとうございます。

まづもつて、昨年3月11日に発生した東

日本の幕開けを迎えたことを心から
お慶び申し上げますとともに、平素のご指
導ご支援に対しまして、厚くお礼を申し上

げる次第でございます。

復興復旧は、福島原発の壊滅的な状況に
よる電力の供給不足問題や放射性物質汚染
問題が足かせとなりまだ不透明な状況もあ
りますが、その対応に全国民挙げて取り組
み支援を続けているところです。わが国に
与えた影響は、経済、産業あらゆる面におい
て大きく、業界においても、被災による電力
供給面での制約や部品市場の打撃など、もの
作りにおいても支障をきました。さらに、
被災時の営業、節電などの対応で業界に対し
て世論の批判を受けたこともあります。

遊技業界として、被災地に対し支援金
の拠出や節電の自肅措置など業界挙げて取
り組んでまいりましたが、非常時の対応や
環境、エネルギー問題などにおける社会と
の関わり、役割を再認識したところであり、
業界の社会的信頼を得るためにも国民の声
を真摯に受け止め、地道な努力をすること
の必要性を痛感致しました。

震災の影響は遊技市場の落ち込みに少な
からず追い打ちをかけることとなりました
が、ここ数年の疲弊した状況の中で、まず、

皆様には、平成24年の新春を健やかに過ごしてお迎えのこととお慶び申し上げます。日電協は昨年11月に組合事務所をJR上野駅近くに移転し、初めての正月を迎えました。日電協を本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、中東・北アフリカで広がった民主化運動、ギリシャが発信源となった欧州の経済危機、米国の雇用・格差問題、タイの洪水災害など全世界において激震が走り、株価の乱高下や歴史的な円高を記録するなど世界経済は混沌に陥りました。一方、国内においても東日本大震災、福島第一原発における事故発生という未曾有の大災害に加え、

日本電動式遊技機工業協同組合

理事長
里見治

健全化を推進し本来あるべき「身近で手軽な大衆娯楽」として幅広い層に受け入れられる魅力ある遊技機を市場に提供して社会的な役割を重視し国民の理解を得ることが重要であると考えています。

的なことでありますので、業界に関わる一人一人が理解を深め原点に立ち返る必要があると思います。

幅広いファンに受け入れられる遊戯機つく
りに手を緩める事なく、今後も推進していく
かなければならぬと考えています。

あわせて、環境対策につきましては、電
災をきっかけとして遊技機の一層の節電対
策が求められています。引き続き照明のL
E D化、その他低消費電力部品の採用など
を進めておりますが、さらに待機時の照明電
や液晶の明るさなどの節電も進め、その節電
減目標値として概ね20%を掲げ、省エネへ
の取り組みを推進しています。使用済み遊

震災からの復興の最中であります。が、感謝の意を表す言葉として、この機会に、皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念申し上げ、新年のあいさつとさせて頂きます。

・宮城県及び岩手県の社会福祉協議会等
　へ15人乗りマイクロバス14台を寄贈
・仮設住宅居住者のコミュニケーション作りを目的に、東北TBCラジオ放送を主催とし、ゲストに堀内孝雄氏を招いての仮設住宅対抗「カラオケ歌合戦」を協賛など支援活動を行いました。
未だ多くの方々が仮設住宅や避難先での生活を余儀なくされ、以前の生活を取り戻すまでには相当期間を要する状況にあると思いますが、日電協といたしましては今後も引き続き出来る限りの支援活動を続けて参ります。

多くのメーカーは大震災後に部材の確保に苦慮致しましたが、幸いにも早期に手当てを行うことができました。また各社が遊技性豊かな機械の開発に努め、ユ

販売台数は前年より僅かながら増加に転

JANUARY 2012 遊技通信 86